

ピアワークによる思春期健康教育  
の取り組みについて  
～生徒の感想から見たこと～

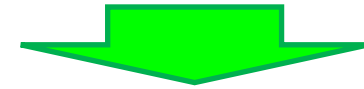
◎鈴木 智恵、由井 幸子  
栗原保健所 母子・障害班

# 思春期と社会背景

## 思春期の特徴

- ①自分という存在に悩み、アイデンティティが拡散がし、周りの意見に流されやすい時期
- ②性への強い関心
- ③メディアリテラシーの不足

インターネットメディア  
の若年層への普及



若年層へのアダルト  
情報の蔓延

## 性行動の低年齢化

- ・若年妊娠等による児童虐待の増加
  - ・10代の人工妊娠中絶，性感染症の高止まり
- 国，自治体レベルでの対策が求められている

# 行政，自治体による対策

- 国(厚生労働省):  
健やか親子21



重点課題として、

「思春期の保健対策の強化と健康教育の推進」

→ピアによる性教育への取り組みの促進

- 自治体(県、栗原市):

くりはら思春期健康教育事業

思春期にある子供達同士での性、健康についての相互的教育を通して、若年層の性の自己決定能力について改善しようとする試み

# くりはら思春期健康教育事業

- 目的:

思春期にある子ども達が、自分にはかけがえのない大切な存在であることを認識することにより、他者も大切にし、**性の自己決定能力**を高めること

- 手法:ピアからの健康教育 (**ピアワーク**)

……ピア＝仲間、同僚、同世代 ……………

同じ世代の中で価値観を共感・共有するピアワークは、**主体的な行動変容を促す**面で効果的

# 事業の流れ

## 講師・対象者

## 目的・内容

### 第一部

### ピア育成研修 (2回シリーズ)

7月～8月

講師：助産師、保健師  
養護教諭

対象者：  
迫桜高校1年生 8人  
若柳中学校3年生10人

↑ 支援する

迫桜高校2,3年生8人

講話，グループワークにより，生徒の主体性を高め，ピアワークにつなげる

### 第二部

### ピアによる 健康教育

12月

講師：迫桜高校1年生ピア

対象者：  
迫桜高校1年生180人  
若柳中学校3年生109人  
築館中学校3年生107人  
(一般の生徒)

ピアワークを行い，生徒たちの性の理解および自己決定能力を高める

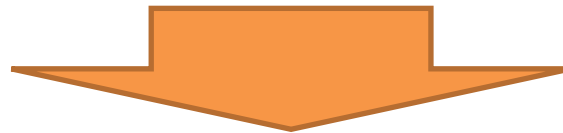
# 第1部

## ピア育成研修の実際

# オリエンテーション

- 思春期ってどんな時期なのか
- 同年代の生徒から話を聞くことのメリット
- 性のこと、命の尊さ、自分・相手を大切にすること

を生徒たちにまず理解してもらう



生徒達が自分の役割を理解しながら活動することで、感じたことや学んだことをピアワークで他の生徒たちに彼ら自身の言葉で伝えることに積極性を持たせる

# 助産師、支援者による講話・体験1

講話1：命の誕生

講話2：栗原市の10代の妊娠・子育ての現状

グループワーク：「自分を大切にすることとは」

グループワークの感想

- ・男の子が女の子に断られてもその子のことを嫌いにはなれない
- ・自分が思っていることをはっきり伝えることが自分を大切にすることにつながると気づいた



# 助産師、支援者による講話・体験2

講話：性感染症とその予防について

グループワーク：「同年代の男女に伝えたいこと」

## グループワークの感想

- ・同年代の人は性について間違った知識の人も多いと思うので、正しい知識を伝えていきたい
- ・将来のことを考え、自分と相手の気持ちを大切にすることを伝えたい

# 第2部

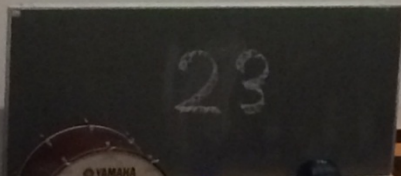
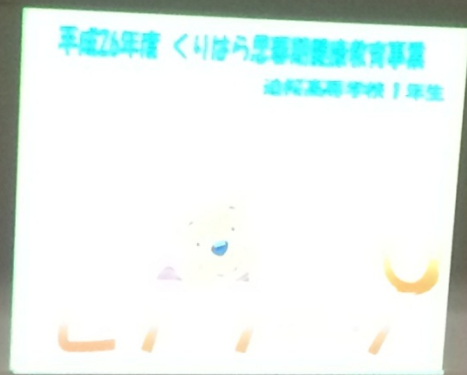
## ピアによる健康教育 (ピアワーク)の実際

# 実際の内容

- ピアとは？ピアワークとは？
- 生命の誕生・胎児の発育について
- 妊婦体験・赤ちゃん人形の抱っこ体験
- 命が大切な理由
- 劇「大好きな彼氏にセックスを誘われたら」
- 「15歳で中絶経験した女子大生からの手紙の朗読
- 緊急避妊ピル
- 性感染症とその予防について
- 性感染症の広がりやすさの実験
- まとめ:「自分・相手のこころ・からだを大切にしよう」
- みなさんへのメッセージ:「生まれたよ、ぼく」

# 「ピア」の説明

H26.12.10



# 妊婦の体験

とても重い・・・  
両親に育ててくれて  
ありがとうと言いたい



# 赤ちゃん人形 抱っこ体験

○首がすわっていないなくて、抱っこするのが難しかった。

○意外と重い。これが命の重さなのかと思った。

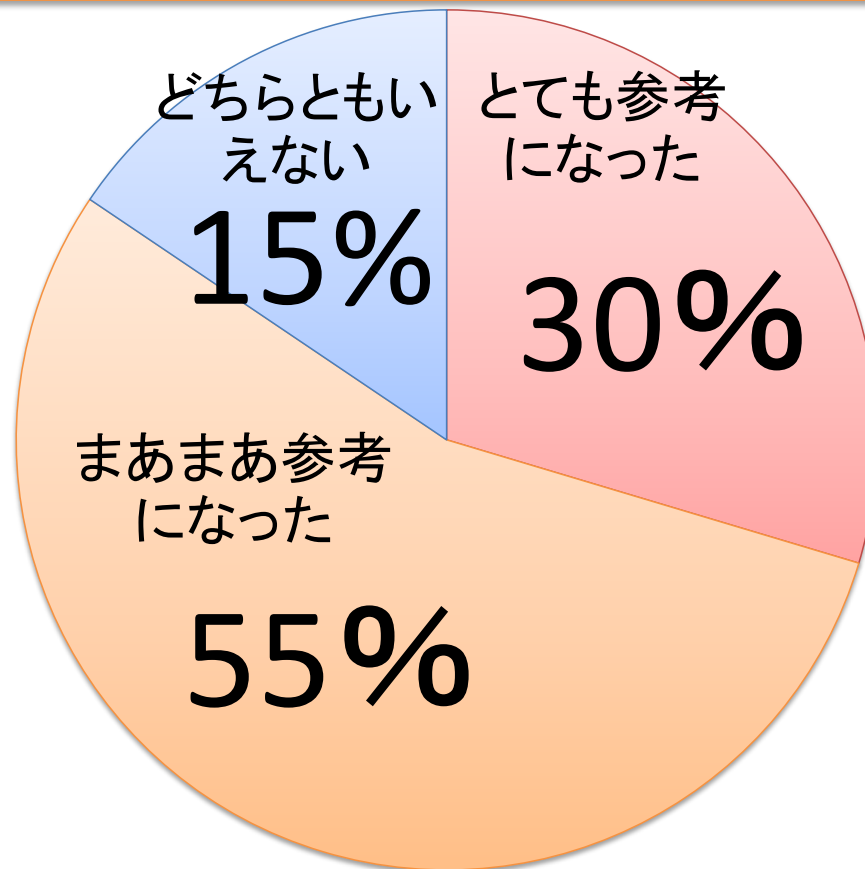
# 性感染症の広がり実験



○性感染症がこんなにも広がりやすいことに気づかされた。

○性感染症の大変さを知り、気をつけなければならないと思った。

# 今日のピアワークは参考になりましたか

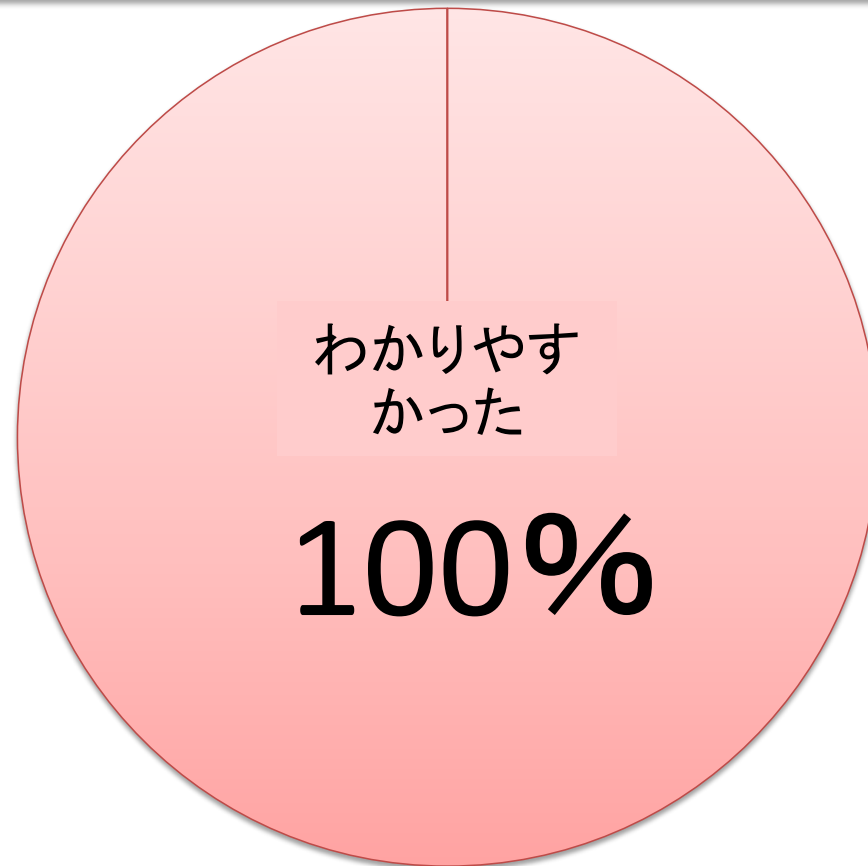


8割以上が「参考になった」と回答

➡ 講話は性教育及びその意識づけに有効である



# 生徒から生徒への授業はどうでしたか



全員が「分かりやすかった」と回答

➡ ピアワークは授業の理解に有効な手法である

# 自由記載の感想

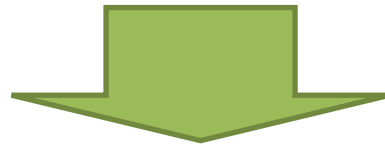
- 命の大切さを改めて知ることが出来た
- 自分の生き方の考え方を变えることが出来た
- 自分と自分の周りの人を大切にしたい
- 自分の意思を伝えることは自分と相手のためになる
- 大人の授業よりも素直に心に入ってきた



くりはら思春期健康教育事業目的に沿った感想を引き出すことができ、また感想からもピアワークの有用性を確認することができた

# 先生方の感想

- ピアとして活動している生徒が、健康教育を行うごとに成長している様子を見ることが出来た。
- 受けている生徒が、いつもの授業よりも真剣に聞いている様子を見ることが出来た。
- とても素晴らしい事業なので、今後も続けていきたいし、もっと他の学校にも広がってほしいと思う。

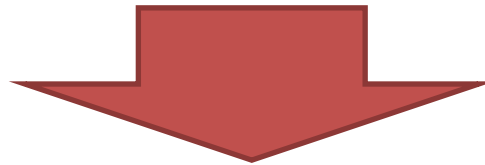


ピアワークの効果を実感しており、今後も前向きに取り組んでいきたいという様子を確認することが出来た

# 現状と課題

**現状：実施校の評価は高いが、普及していない**

- 生徒及び養護教諭のピアワークへの評価が高い
- 支援者側も生徒の成長を感じている
- 一方で、管理職以上の教職員にピアの効果波及しておらず、他の学校に事業が取り入れられていない



迫桜高校以外にもピア活動を広げ、健康教育を受ける学校を増やしたい。

# 今後の取り組み

- ✓管内の中学校及び高校を回り、養護教諭以外の管理職の先生とも直接話す。
- ✓教育事務所との連携を図り活動の普及の促進を行う。
- ✓管外の学校にも視野を広げ、幅広い範囲での実績作りに取り組む。

# まとめ

---

ピアワークを通し性教育を行うことで、生徒が素直に学習することが出来、命の大切さや自分・相手を大切にすることを実感できる



性の自己決定能力を高める上で有効である

ご清聴ありがとうございました

